

32 中川家住宅



設計：不詳
施工：不詳
竣工：主屋 19世紀後半頃
 付属棟 不詳
構造：主屋(茅葺) 軸組工法（伝統構法）
 付属棟(茅葺) 軸組工法（伝統構法）
所在地：西区押部谷町木見



木見地区の旧道（県道）沿いで、谷奥に向けて徐々に高度が高まる地点に立地します。敷地南側にため池があり、主屋はそこを臨むように南面して建つ平入り民家です。

西にはすぐ山が迫り、当該住宅をはじめ、数軒の民家がまとまっています。東側に県道が走るがその先はすぐ崖となっており、眼下に木見川と周辺の田畑が望めます。

南北に走る県道に接しており、道からは南側の池の向こうに建つ姿が印象的で、また、川の反対側の東の斜面からも、山を背景とした住宅の姿を望むことができます。



池の向こうに建つ印象的な姿